

製品名: TASK-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18652**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNK15
別名	KCNK15; TASK5; Potassium channel subfamily K member 15; Acid-sensitive potassium channel protein TASK-5; TWIK-related acid-sensitive K(+) channel 5; Two pore potassium channel KT3.3; Two pore K(+) channel KT3.3
遺伝子 ID	60598.0
SwissProt ID	Q9H427
免疫原	抗血清はヒト KCNK15 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 273-322

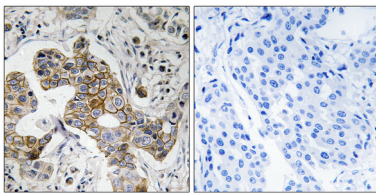
背景

カリウム2ポアドメインチャンネルサブファミリーKメンバー15 (KCNK15) ホモサピエンス この遺伝子は、2つのポア形成Pドメインを含むカリウムチャンネルタンパク質スーパーファミリーのメンバーの1つをコードしています。この遺伝子産物が機能的なチャンネルであることは示されていませんが、活性には他の非ポア形成タンパク質を必要とする可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: おそらくカリウムチャンネルサブユニット。異種システムではチャンネル活性は観察されませんでした。機能的なチャンネルを形成するには、他のタンパク質との結合が必要になる可能性があります。多型: TASK-5A、TASK-5B、およびTASK-5Cの3つのバリエーションポリペプチドが知られています。示されている配列はTASK-5Cのもので、類似性:2つの孔ドメインのカリウムチャンネル(TC 1.A.1.8)ファミリーに属します。サブユニット:ヘテロ二量体。組織特異性:膵臓、心臓、胎盤、肺、肝臓、腎臓、卵巣、精巣、骨格筋、副腎で検出され、前立腺、脾臓、甲状腺でも低レベルで検出されます。

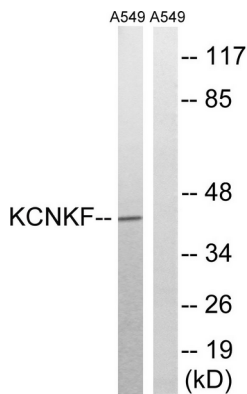
研究分野

-

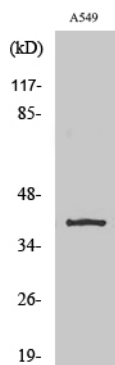
画像データ



KCNK15抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



KCNK15抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TASK-5ポリクローナル抗体を1:1000に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。